

論文

第2次大戦前期のドイツ鉄鋼業，化学産業，電機産業における
主要企業の監査役兼任ネットワークの構造（I）

— ナチス期の合同製鋼，IG フェルペンおよびジーメンス & ハルスケの分析 —

山 崎 敏 夫*

要旨

人的結合関係は，産業と銀行の関係，産業企業間の関係のいずれにおいても，企業間の結びつきの重要な手段をなしてきた。なかでも，役員兼任による人的結合は，トップ・マネジメントの意思決定のための情報の交換・共有にとって重要な意味をもつものである。このような人的結合のシステムによる産業と銀行の間や産業企業間の緊密な関係の構築という現象は，各国に共通してみられるものであり，企業間の協調に基づく産業システムの重要な要素として，それぞれの国の資本主義の蓄積構造の基軸をなすものとなってきた。そのような一般的な傾向のなかにあっても，ドイツでは，他の諸国に比べ企業間の相互作用の仕方が異なっており，役員兼任による人的結合は，企業間の利害や種々のコンフリクトが市場競争よりはむしろ協議において調整されるという協調的な企業間関係の基盤となってきた。

役員兼任については，当該企業の役員が監査役会のポストを兼任している相手先企業の監査役会メンバーがさらに第3の他の会社の監査役を兼任しているというケースでは，企業間の人的結合関係をとおして可能となる情報の交換・共有の可能性は大きく拡大されることになる。ある企業A社の監査役が監査役会において兼任関係を有している他社のB社，さらにB社の監査役会メンバーによる異なる企業C社の監査役会ポストの兼任というかたちが成立しているとき，A社とB社という2社の間の人的結合のレベルを超えて，A社をめぐる企業間の人的ネットワークが成立することになる。本稿では，社会的ネットワーク分析の手法に基づいて，第2次大戦前の時期について，ナチス期にあたる1930年代半ばの時期を対象として，鉄鋼業，化学産業および電機産業という基幹産業部門の代表的企業の監査役兼任ネットワークの構造を考察し，その特徴を明らかにしていく。そこでは，鉄鋼業と化学産業の巨大トラストである合同製鋼とIGフェルペン，ジーメンス・コンツェルンの中核企業であるジーメンス & ハルスケのケースが考察される。

* 立命館大学経営学部 教授

キーワード

監査役会 化学産業 企業間関係 人的ネットワーク 鉄鋼業 電機産業 ドイツ 役員兼任

目 次

- I 問題の所在
- II 企業間人的ネットワークの考察方法——社会的ネットワーク分析の方法——
- III 鉄鋼業企業の監査役兼任ネットワークの構造
 - 合同製鋼の事例——
 - 1 監査役兼任ネットワーク
 - 2 兼任監査役のクリーク（以上本号）
- IV 化学産業企業の監査役兼任ネットワークの構造（以下次号）
 - IG ファルベンの事例——
 - 1 監査役兼任ネットワーク
 - 2 兼任監査役のクリーク
- V 電機産業企業の監査役兼任ネットワークの構造
 - ジーマックス & ハルスケの事例——
 - 1 監査役兼任ネットワーク
 - 2 兼任監査役のクリーク
- VI 監査役兼任ネットワークの産業企業間の比較
- VII 結語

I 問題の所在

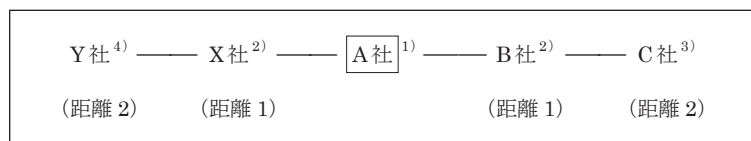
自立した行為主体としての個別企業には、単独で意思決定し行動するのではなく業務上の関係、資本関係や人的結合関係などの多様な方法によって、競争関係にある企業をも含めて、さまざまな業種・産業の企業との間で協調的な関係を構築し、そのような関係の相互作用によってさまざまな対応をはかりながら経営を展開しているという実態がみられる。こうした企業間の関係の重要な手段となるものが、人的結合を介した接触、やりとりである。なかでも、トップ・マネジメント機関のメンバーである役員の兼任による人的結合は、企業の戦略的意思決定のための情報ルートをなすものであるがゆえに、企業間関係の基軸をなすものとなってきた。このような人的結合のシステムによる産業と銀行の間や産業企業間の緊密な関係の構築という現象は、各国に共通してみられるものであり、企業間の協調に基づく産業システムの重要な要素として、それぞれの国の資本主義の蓄積構造の基軸をなすものとなってきた。

ドイツにおいては、監査役会と取締役会から構成される二層制のトップ・マネジメント機構、信用業務と証券業務が一体となって銀行の業務が展開されるというユニバーサル・バンク制度のもとで、役員の派遣や兼任による企業間の緊密な人的な結合、つながりが築かれてきた。そこでは、監査役会での兼任によって産業企業と銀行の間のみならず産業企業間の情報の

交換・共有の基盤が築かれ、企業間の利害や種々のコンフリクトが市場競争よりはむしろ協議において調整されうるようなシステムが生み出されてきた。

こうした役員兼任をめぐるのは、直接兼任は、人的な結びつきのある企業2社の間の関係であるが、役員兼任による企業間人的結合は、兼任先の企業の役員による第3の企業との兼任によってさらに拡大することになる。ある企業A社の監査役会メンバーが他社であるB社の監査役会において直接兼任の関係を有しており、さらにB社の監査役会メンバーによる異なる企業C社の監査役会ポストの兼任というかたちが成立しているとき、A社とB社という2社の間の人的結合のレベルを超えて、A社をめぐる企業間の人的ネットワークが成立することになる。複数の企業が役員兼任のような人的結合のラインで結びつけられると、「距離」の概念が生じるが¹⁾、例えば、このネットワークの起点となる企業であるA社からみると、「A社→B社」を「距離1」、「B社→C社」を「距離2」としてとらえると、「距離2」の範囲でのA社をめぐる監査役会を舞台とする企業間の人的ネットワークが成立することになる。同様に「A社→X社」、「X社→Y社」というかたちで監査役兼任が成立している場合には、A社をめぐる「距離2」の範囲のネットワークはさらに拡大することになる（図1参照）。この「距離2」の範囲での人的ネットワークは、企業間の情報の集積、交換・共有、情報フロー・メディアという点で重要な意味をもつものである。

図1 「距離2」の範囲での人的ネットワークの概念図



(注)：1) A社はこのネットワークの起点となる企業。

2) B社、X社はA社と直接結びついている「距離1」の位置にある企業。

3) C社はB社と直接結びついているが、A社からみるとB社を介して間接的に結びついている「距離2」の位置にある企業。

4) Y社はX社と直接結びついているが、A社からみるとX社を介して間接的に結びついている「距離2」の位置にある企業。

(出所)：筆者作成。

こうしたネットワークを構成する各社の間で成立する情報のフロー・メディアとしての役割・意義という点からみると、「距離2」の範囲でのネットワークの分析が重要な意味をもつ。「距離3」以上のネットワークの場合には当該個別企業をめぐる企業間関係の色彩が弱まること、また「距離1」の場合には当該個別企業のみを中心としたネットワークが対象となり、上記の直接兼任と異なるところはないということが、その理由をなす²⁾。それゆえ、役員兼任による企業間の人的結合関係の分析においては、主要業種・産業の代表的企業をめぐる「距離2」の範囲で成立しているネットワークの考察をとおしてその構造を明らかにすることが、重要な意味をもつ。

筆者はすでに、ドイツの主要業種・産業の代表的企業をめぐり「距離 2」の範囲で形成される監査役兼任ネットワークについて、社会的ネットワーク分析の方法に基づいて、3 大銀行（ドイツ銀行、ドレスナー銀行およびコメルツ銀行）のケースを取り上げて、ナチス期の 1930 年代半ば頃の状態を考察している³⁾。筆者はまた、第 2 次大戦後の時期についても、1 人の人物が保有可能な監査役会ポストの数に制限を加えることになった 1965 年株式法⁴⁾以後の 1960 年代末の時期を対象として、上記の 3 大銀行のほか、鉄鋼業の代表的企業 8 社、化学産業のかつての最大企業 3 社、電機産業の最大企業 2 社、自動車産業の民族資本 3 社の合計 5 業種 19 社を取り上げて分析を行った⁵⁾。

そこで、これらの考察をふまえて、本稿では、2 次大戦前期の時期の状況について、鉄鋼業、化学産業、電機産業という当時の基幹産業部門の代表的企業をめぐる監査役兼任による人的ネットワークの構造の分析を行う。鉄鋼業については合同製鋼を、化学産業については IG ファルベンを取り上げる。電機産業については、20 世紀初頭以降 AEG とともに 2 大企業体制の一翼をなしたジーメンス・コンツェルンの中核企業であるジーメンス & ハルスケのケースが考察される。そこでは、社会的ネットワーク分析の手法に基づいて、各社のネットワークの凝縮性、ネットワークのなかで中心的位置を占める企業の把握を行うとともに、産業企業と銀行を結びつける兼任監査役、産業企業と産業企業を結びつける兼任監査役を取り上げて、人的ネットワークにおいて重要な役割を果たしうる兼任監査役のクリークについても考察する。

ドイツにおける役員兼任による企業間の人的結合、人的ネットワークについては、多くの重要な研究成果がみられる。しかし、ドイツ資本主義の主要業種・産業の代表的企業の人的結合関係の個別具体的なケースに基づいた分析は少ない。人的ネットワークを定量的に分析した研究が一部でみられるが、本稿で取り上げるようなドイツ資本主義の基幹産業部門の代表的企業の監査役兼任ネットワークの具体的な実態が十分に明らかにされてきたとは必ずしもいえない⁶⁾。それゆえ、本稿では、銀行業の人的ネットワークとの比較を念頭に、産業企業のネットワークの構造的特質の解明を試みる。

以下では、まずⅡにおいて社会的ネットワーク分析の方法についてみていく。それをふまえて、Ⅲ、ⅣおよびⅤでは、鉄鋼業の合同製鋼、化学産業の IG ファルベン、電機産業のジーメンス & ハルスケの人的ネットワークの構造をそれぞれ考察する⁷⁾。それをふまえて、Ⅵでは、これらの産業企業間でのネットワークの構造の比較を行う。さらにⅦでは、本稿の分析から得られるインプリケーションを提示する。

Ⅱ 企業間人的ネットワークの考察方法——社会的ネットワーク分析の方法——

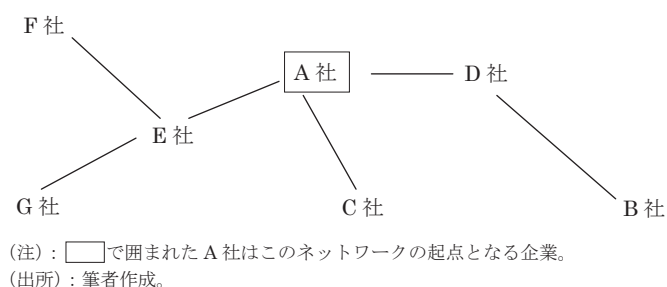
まず企業間の人的結合を対象とした社会的ネットワーク分析の方法について簡単にみておく

ことにしよう。この分析手法においては、「密度」と「中心性」という2つの概念がキーをなし、さらに「重複度」がそれに加わる。ここにいう「密度」とは、企業間関係のつながり（全体構造）の凝集性の強さを測定する指標である。それは、ありうる人的結合の連結数（ライン総数）に対する実際の連結数（ライン数）の割合で示される。すなわち、実際の連結数を可能な連結数で除したものがそれであり、計算式としては、実際の連結数を L 、ネットワークの規模を示す頂点数（構成企業の数）を n とすると、可能な連結数は $n(n-1) \div 2$ となるので、密度 $= L \div n(n-1) / 2$ という式で表される。

図2はネットワークの密度と当該ネットワーク内における中心性を説明するための概念図である。そこには7社がネットワークを構成する企業として存在しており、実際の連結数は6であるが、理論上可能な結合を行った場合の連結数は $7 \times (7-1) / 2 = 21$ であるので、密度は $6 \div 21 = 0.286$ となる。

一方、「中心性」とは、企業間関係のつながり（構造）のなかである単独の企業がどれだけ多くの他の企業とのつながりがあるか、すなわち隣接する企業数（頂点の連結の程度を示す尺度である「隣接度」）によって計測される。それは、ネットワークにおける単独企業の他の企業とのつながりの強さを測定する指標である。この隣接度という指標を基礎にして、大銀行や産業コンツェルン（企業グループ）のなかで中心性が高いのはいかなる業種・産業のどの企業であるのかという点の比較が可能となる。図2に基づいて「中心性」を測定すると、このネットワークは、A社からみて距離2のネットワークとなっているが、A社、E社の隣接度は3、D社のそれは2、B社、C社、F社、G社のそれはいずれも1となっている。隣接度の数値から、A社とE社が相対的に中心性の高い企業であるとみなされる。

図2 ネットワークの「密度」と当該ネットワークにおける「中心性」



このように、「密度」と「中心性」は、企業間の人的ネットワークについて全体をみるのか、あるいは特定の企業をみるのかという点で異なっている。前者はネットワークを形成している企業の全体構造、その性格（まとまりぐあい）を示すのに対して、後者は、ネットワークのなかでの中心・中核をなすのはどの企業であるのか、すなわち、個々の企業の重みを明らかにするものである。「密度」によるネットワークの全体構造の分析は、3大銀行や主要産業企業につ

いて、どの業種・産業部門のネットワークの「凝集性」が強いのか、またどの銀行や産業企業のネットワークの「凝集性」が強いのかという点の把握など、業種間・産業間や企業間の比較に有効である。一方、「中心性」によってネットワークのなかでの中核をなす企業を把握することによって、そのような企業の属する産業の特定が可能となり、この点での 3 大銀行間や産業企業間、銀行と産業企業間のネットワークの比較が有効である。本稿の研究においては、銀行の「中心性」、すなわち、銀行による企業とのつながりの強さがどうであるかということが重要な問題となるが、とくにこの点についての主要産業部門との比較、産業企業との比較が重要な意味をもつ。

また「重複度」とは兼任度とも呼ばれ、企業間の人的なつながりの連結数（ライン数）の重複の程度を測定する指標である。例えば A 社と B 社の間で、A 社→B 社というひとつのラインに複数の人物がかかわっている場合や、両社の間に相互の派遣・兼任がある場合がそれに該当する。この「重複度」を入れると「中心性」がよりはっきりと把握できることになる⁸⁾。

Ⅲ 鉄鋼業企業の監査役兼任ネットワークの構造

——合同製鋼の事例——

1 監査役兼任ネットワーク

まず鉄鋼業の産業企業について考察を行うことにするが、この産業の最も代表的な大企業である合同製鋼の事例をみていくことにしよう。ネットワーク分析では、それを構成する個別の要素が独立しているということを前提としてそれらの相互作用をととして全体が規定されるという点が重視されることから、最初に、監査役兼任ネットワークを構成する個別企業の中心性の測定を行うことにする。

監査役兼任ネットワークを構成している合同製鋼と「距離 1」の範囲内に位置する企業（243 社）について、兼任関係がみられた企業数である隣接度をみると（表 1 参照）、その重い順から上位 10 社中、銀行業が 3 社みられ、これらの金融機関 3 社を除く 7 社が非金融企業であった。その産業別の内訳をみると、炭鉱業が 1 社、鉄鋼業が 2 社、化学産業が 1 社、電機産業が 1 社、自動車産業が 1 社、電力業・ガス産業・エネルギー産業が 1 社あった。これらの上位 10 社の隣接度は 254 から 187 の間に分布しており、人的結合のある企業数は非常に多かった。隣接度が 254 であり最も高い中心性を示していた企業は、銀行業のドイツ銀行（Deutsche Bank und Disconto-Gesellschaft）であった。電機産業の AEG、鉄鋼業の Mitteldeutsche Stahlwerke AG, Vereinigte Stahlwerke AG、銀行業の Deutsche Centralbodenkredit-AG がそれに続いており、それらの隣接度はそれぞれ 246, 244, 243, 229 となっていた。このように、合同製鋼のネットワークでは自社の中心性は非常に高いものであった。これらの 5 社が隣接度で

表1 合同製鋼のネットワークにおける構成企業の「中心性」¹⁾

順位	企 業 名	隣接度 ²⁾	業種・産業
1	Deutsche Bank und Disconto-Gesellschaft	254	銀行業
2	Allgemeine Elektrizitäts-Gesellschaft	246	電機産業
3	Mitteldeutsche Stahlwerke AG	244	鉄鋼業
4	<u>Vereinigte Stahlwerke AG</u> ³⁾	243	鉄鋼業
5	Deutsche Centralbodenkredit-AG	229	銀行業
6	Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation	207	炭鉱業
7	Rheinsich-Westfälisches Elektrizitätswerk AG	202	電力業・ガス産業・エネルギー産業
8	Kokswerke und Chemische Fabriken AG	199	化学産業
9	Daimler-Benz AG	191	自動車産業
10	Dresdner Bank AG	187	銀行業
11	Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat	184	炭鉱業
12	Ruhrgas AG	180	電力業・ガス産業・エネルギー産業
13	Harpener Bergbau-AG	179	炭鉱業
14	Gesellschaft für elektrische Unternehmungen —Ludwig.Loewe & Co.AG	175	電機産業
15	Berliner Kraft und Licht (Bewag) AG	171	電力業・ガス産業・エネルギー産業
16	Commerz- und Privat Bank AG	162	銀行業
17	Deutsch-Asiatische Bank	160	銀行業
18	Mannesmannröhren-Werke	157	鉄鋼業
19	Elektrizitäts-Lieferungs-Gesellschaft mbH	153	電力業・ガス産業・エネルギー産業
20	Preußische Elektrizitäts-AG	152	電力業・ガス産業・エネルギー産業
21	Essener Steinkohlenbergwerke AG	150	炭鉱業
21	Sächsische Bodencreditanstalt	150	銀行業
23	Gelsenkirchener Bergwerks-AG	149	炭鉱業
24	Allianz und Stuttgarter Lebensversicherungsbank AG	146	銀行業
25	AG für Waggonbauwerte (Linke-Hofmann-Busch-Werke AG)	145	機械産業
26	Metallgesellschaft AG	144	金属産業・金属加工業
26	Feldmühle,Papier- und Zellstoffwerke AG	144	その他の産業
28	Ruhrstahl AG	143	鉄鋼業
29	Dynamit AG vormals Alfred Nobel & Co.	142	化学産業
30	Deutsche Edelstahlwerke AG	141	鉄鋼業
30	Eisenwerk-Gesellschaft Maximilians-Hütte	141	鉄鋼業
32	Mansfeld AG für Bergbau und Hüttenbetrieb	139	鉄鋼業
33	Reichs-Kredit-Gesellschaft AG	136	銀行業
34	Dresdner Chromo-Kunstdruch-Papierfabrik Krause & Baumann AG	135	その他の産業
35	AG für Bergbau,Blei- und Zinkfabrikation zu Stollberg	133	金属産業・金属加工業
35	A.Riebeck'sche Montanwerke	133	化学産業
37	DEMAG AG	132	機械産業

38	Berliner Handels-Gesellschaft	130	銀行業
38	Rheinische Metalwaren- und Maschinenfabrik (Rheinmetall—Borsig)	130	機械産業
40	Rheinisch-Westfälische Boden-Credit-Bank	126	銀行業
41	Universum-Film AG	120	その他の産業
42	Rheinische Stahlwerke AG	119	鉄鋼業
42	Deutsche Erdöl AG	119	石油産業
44	Elektrizitäts-AG vormals Schuckert	114	電力業・ガス産業・エネルギー産業
44	Rheinisch-Westfälische Kalkwerke AG	114	その他の産業
46	Kaliwerke Aschersleben	112	炭鉱業
46	Wasserwerk für das nördliche westfälische-Kohlenrevier	112	その他の産業
48	Süddeutsche Zucker AG	111	その他の産業
49	Klöckner-Werke AG	110	鉄鋼業
50	Braunkohlenindustrie AG Zukunft	107	炭鉱業
50	Niederschlesische Bergbau-AG	107	炭鉱業
50	Allgemeine Gas- und Elektrizitäts-Gesellschaft	107	電力業・ガス産業・エネルギー産業
53	Concordia Bergbau-AG	106	炭鉱業
53	Dortmund-Hörder Hüttenverein AG	106	鉄鋼業
55	Bergbau AG Ewald-König Ludwig	104	炭鉱業
55	August-Thyssen-Hütte AG	104	鉄鋼業
57	Nordstern Allgemeine Versicherungs-AG	103	保険業
58	Vereingte Kugellagerfabriken AG	102	機械産業
59	Deutsche Ueberseeische Bank	99	銀行業
59	Hotelbetriebs-AG	99	その他の産業
61	Königsberger Zellstoff-Fabriken und Chemische Werke Koholyt	97	化学産業

(注) 1) Vereinigte Stahlwerke AG と距離 1 の範囲でのその兼任先企業をあわせた 244 社のうち、隣接度でみた上位企業の 4 分の 1 をリストアップしたもの。

2) 中心性は、兼任のみられる企業数である隣接度によって測定される。

3) 下線を引いた企業は、このネットワークの起点となる企業である Vereinigte Stahlwerke AG。

(出所) : J. Mossner (Hrsg.), *Adressbuch der Direktoren und Aufsichtsräte 1936*, Bd.I, Nach Personen geordnet, Finanz-Verlag, Berlin, 1936, Vereinigte Stahlwerke AG, *Geschäftsbericht*, 各年度版, *Handbuch der deutschen Aktien-Gesellschaften*, 各年度版を基に筆者作成。

みた上位 5 位内に位置していた。6 位は炭鉱業の Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation であり、その隣接度は 207 となっていた。7 位は電力業・ガス産業・エネルギー産業の Rheinsich-Westfälisches Elektrizitätswerk AG (隣接度 202)、8 位は化学産業の Kokswerke und Chemische Fabriken AG (同 199) となっていたが、9 位は自動車産業の Daimler-Benz AG (同 191) であった。10 位は銀行業 Dresdner Bank AG であり、その隣接度は 187 であった。上位 5 社でみると、銀行業が 2 社、鉄鋼業が 2 社、電機産業が 1 社となっており、銀行業のほか合同製鋼と同業種の鉄鋼業において最上位層に位置する企業の数が多かった。

また隣接度でみた上位 11 位から 20 位の企業には、炭鉱業が 2 社、鉄鋼業が 1 社、電機産業が 1 社、銀行業が 2 社、電力業・ガス産業・エネルギー産業が 4 社存在していた。これら 11 社の隣接度は 184 から 152 の間に分布しており、人的結合のみられた企業数は非常に多かった。11 位は炭鉱業の Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat（隣接度 184）、12 位は電力業・ガス産業・エネルギー産業の Ruhrgas AG（同 180）、13 位は炭鉱業の Harpener Bergbau-AG（同 179）、14 位は電機産業の Gesellschaft für elektrische Unternehmungen—Ludwig Loewe & Co. AG（同 175）、15 位は電力業・ガス産業・エネルギー産業の Berliner Kraft und Licht (Bewag) AG（同 171）であった。16 位は銀行業の Commerz- und Privat Bank AG（隣接度 162）、17 位は銀行業の Deutsch-Asiatische Bank（同 160）、18 位は鉄鋼業の Mannesmannröhren-Werke（同 157）、19 位は電力業・ガス産業・エネルギー産業の Elektrizitäts-Lieferungs-Gesellschaft mbH（同 153）であった。20 位には電力業・ガス産業・エネルギー産業の Preußische Elektrizitäts-AG が位置しており、その隣接度は 152 であった。

以上をふまえていえば、上位 20 位内に位置する企業の属する産業では、炭鉱業が 3 社（6 位、11 位、13 位）、鉄鋼業が 3 社（3 位、4 位、18 位）、化学産業が 1 社（8 位）、電機産業が 2 社（2 位、14 位）、自動車産業が 1 社（9 位）、銀行業が 5 社（1 位、5 位、10 位、16 位、17 位）、電力業・ガス産業・エネルギー産業が 5 社（7 位、12 位、15 位、19 位、20 位）となっていた。銀行業の企業と同様に、電力業・ガス産業・エネルギー産業、鉄鋼業、炭鉱業の企業の数が多かった。上位 11 位から 20 位に位置するこれらの 10 社のいずれをみても、人的結合のみられた企業数は非常に多かったことが特徴的である。この点は上位 30 社以下でみてもあてはまり、例えば同順位で 30 位に位置していた鉄鋼業の Deutsche Edelstahlwerke AG と Eisenwerk-Gesellschaft Maximilians-Hütte の隣接度はともに 141、40 位に位置していた銀行業の Rheinisch-Westfälische Boden-Credit-Bank のそれは 126 であった。同順位で 50 位に位置していた炭鉱業の Braunkohlenindustrie AG Zukunft, Niederschlesische Bergbau-AG、電力業・ガス産業・エネルギー産業の Allgemeine Gas- und Elektrizitäts-Gesellschaft の隣接度はいずれも 107 となっていたほか、同順位で 59 位に位置していた銀行業の Deutsche Ueberseeische Bank とその他の産業に属する Hotelbetriebs-AG の隣接度をみても、それらは 99 となっており、人的結合のみられた企業数はかなり多かった。

このように、上位 5 社と 10 社のいずれでみても、銀行の隣接度は、ドイツ銀行が 1 位に、Deutsche Centralbodenkredit-AG が 5 位に位置するなど、最上位層を占めていたことが特徴的である。ドイツ銀行は、合同製鋼の監査役兼任ネットワークのなかで最も中心性の高い企業であった。しかし、2 位に位置していた電機産業の AEG、3 位と 4 位にそれぞれ位置していた鉄鋼業の Mitteldeutsche Stahlwerke AG, Vereinigte Stahlwerke AG、6 位に位置していた炭鉱業の Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation など、ドイツ資

本主義の基幹産業部門の代表的企業が上位に位置していた。7 位内に入る各企業の隣接度はいずれも 200 を超えており、人的結合がみられた企業の数が圧倒的に多かった。この点を考えても、最も多くの企業との人的な結びつきによって情報フロー・メディアの結節点としての役割において大きな位置を占める最上位の隣接度を示す企業としては、鉄鋼業、化学産業、電機産業、自動車産業などの基幹産業門における最有力企業や電力業・ガス産業・エネルギー産業の企業の占める位置が高かったといえる。

つぎに、監査役兼任によるネットワーク全体の性格を示す凝集性についてみると、それは密度の尺度によって測定される。合同製鋼のネットワークの密度は 0.004942 であった。同社の監査役会メンバーによる「距離 1」の範囲での兼任がみられた企業数は 243 社、「距離 2」の範囲でのネットワークを構成する企業の総数は 2,551 社であり⁹⁾、「距離 2」の範囲で構成されるネットワークにおける頂点数は非常に多かった。

2 兼任監査役のクリーク

つぎに、合同製鋼と他社を結びつける兼任監査役を取り上げて、兼任監査役のクリークについて考察することにしよう。そのなかから、産業企業の監査役職と銀行の監査役職を兼任する監査役のクリーク、さらには産業企業の監査役職と産業企業の監査役職を兼任する監査役のクリークが析出されることになる。これらの兼任監査役のなかで、監査役会のポストを兼任しているいずれかの企業において監査役会名誉会長、監査役会会長あるいは監査役会副会長のポストに就任している場合には、兼任監査役の中核であるとみなすことができるであろう。

合同製鋼の監査役会メンバーが同社以外のいずれかの企業の監査役会で同席するケースは、68 社においてみられ、合計 189 件の兼任関係が成立していた。そのような企業の業種・産業をみると、炭鉱業では Bergbau-AG Ewald-König Ludwig, Essener Bergwerks-Verein König Wilhelm, Essener Steinkohlenbergwerke AG, Gelsenkirchener Bergwerks-AG, Gebrüder Stumm GmbH, Harpener Bergbau-AG, Kaliwerke Aschersleben, Kaliwerke Salzdorf, Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat, Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation の 10 社、鉄鋼業では August-Thyssen-Hütte AG, Bochumer Verein für Gußstahlfabrikation AG, Deutsche Edelstahlwerke AG, Deutsche Röhrenwerke AG, Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG, Eisenwerk-Gesellschaft Maximilianshütte, Heiner. Aug.Schulte Eisen-AG, Homburger Eisenwerk AG, Klöckner-Werke AG, Mannesmann-Röhrenwerke AG, Mansfeld AG für Bergbau und Hüttenbetrieb, Mitteldeutsche Stahlwerke AG, Neunkirchener Eisenwerk AG vorm.Gebr.Stumm, Press- und Walzwerk AG, Rasselsteiner Eisenwerks-Gesellschaft AG, Rheinische Stahlwerke AG, Ruhrstahl AG, Thyssen Eisen und Stahl AG, Thyssen-Rheinstahl AG の 19 社がみられた。金属産業・金

属加工業では AG für Bergbau, Blei- und Zinkfabrikation zu Stollberg und in Westfalen, Metallgesellschaft AG, Norddeutsche Affinerie の 3 社, 化学産業では A. Riebeck'sche Montanwerke AG, Consolidierte Alkaliwerke zu Westeregeln, Dynamit AG, vorms. Alfred Nobel & Co., Guano-Werke AG, Kokswerke und Chemische Fabriken AG, Rheinisch-Westfälische Sprengstoff-AG の 6 社, 電機産業では Allgemeine Elektrizitäts-Gesellschaft (AEG), Gesellschaft für elektrische Unternehmungen—Ludwig Loewe & Co. AG, Kabelwerk Rheydt, AG, Siemens-Schuckertwerke AG の 4 社, 自動車産業では Adlerwerke vorm. Heinrich Kreyer AG, Daimler-Benz AG の 2 社, 機械産業では AG für Waggonbauwerte (Linke-Hofmann-Busch-Werke AG), DEMAG AG, Hannoversche Maschinenbau AG vormals Georg Egestorff, Maschinenbau-Unternehmungen AG の 4 社, 繊維・紡績・織物産業では F.H. Hammersen AG, Vereinigte Seidenwebereien AG の 2 社がみられた。

鉱工業部門以外の業種をみると、銀行業では Allianz und Stuttgarter Lebensversicherungsbank AG, Concordia, Lebensversicherungs-Bank AG, Deutsch-Asiatische Bank, Deutsche Bank und Disconto-Gesellschaft, Deutsche Centralbodenkredit AG, Dresdner Bank AG の 6 社, 電力業・ガス産業・エネルギー産業では Berliner Kraft und Licht (Bewag) AG, Elektrizitäts-AG vorm. Schuckert & Co., Rheinisch-Westfälisches Elektrizitätswerk AG の 3 社がみられた。また、上記の製造業部門を除く工業部門を含むその他の産業では, Didier-Werke AG, Deutsches Gewerbehaus AG, Dresdner Chromo-Kunstdruck-Papierfabrik Krause & Baumann AG, Feldmühle, Papier- und Zellstoffwerke AG, Rheinisch-Westfälische Kalkwerke, Universum-Film AG, Wessels Wandplatten-Fabrik AG, Westdeutsche Kalkwerke AG, Wasserwerk für das nördliche westfälische Kohlenrevier の 9 社がみられた。

合同製鋼の監査役会メンバーのうち、同社以外のいずれかの企業の監査役会で同席する監査役は、27 人存在した。そのような人物は、F. ティッセン, O. ヤイデルス, O. ヴォルフ, W. ファーレンホルスト, H. フォン・フロットウ, C. ゴエッツ, F. フリック, K. キミッヒ, J. ハスラッハー, W. ケール, R. プフェルスメンゲス, W. カルプ, H. フォン・シュタイン, O. クラーヴェル, E. キルドルフ, C.F. フォン・ジーメンス, H. シュミット, P. マルクス, M.D. フォン・シンケル, A. フーゲンベルク, A.P.J. ホーニヒマン, H.J. コウヴェンホーヴェン, K. ヘルレ, A. フレーゼ, G. タルボット, H. ティッセン—ボルネミズザ, F.F.H. ファン・ヴリジゲンであった。

上記の 68 社のなかでみると、F. ティッセンは 16 社との間で監査役会ポストによって兼任関係を有しており、炭鉱業の Bergbau-AG Ewald-König Ludwig, 鉄鋼業の August-Thyssen-Hütte AG, 機械産業の Hannoversche Maschinenbau AG vormals Georg Egestorff の 3 社では監査役会会長のポストによって、炭鉱業の Essener Steinkohlenbergwerke AG, Gelsenkirchener

Bergwerks-AG, 鉄鋼業の Bochumer Verein für Gußstahlfabrikation AG, Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG の 4 社では監査役会副会長のポストによって, 炭鉱業の Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation, 鉄鋼業の Deutsche Edelstahlwerke AG, Deutsche Röhrenwerke AG, Mitteldeutsche Stahlwerke AG, Ruhrstahl AG, 電機産業の Siemens-Schuckertwerke AG, 電力業・ガス産業・エネルギー産業の Rheinisch-Westfälisches Elektrizitätswerk AG, その他の産業の Rheinisch-Westfälische Kalkwerke, Wasserwerk für das nördliche westfälische Kohlenrevier の 9 社では監査役のポストによって兼任関係を有していた。

O. ヤイデルス, O. ヴォルフ, W. ファーレンホルストの 3 人は, いずれも 13 社との間で監査役会ポストによって兼任関係を有していた。ヤイデルスは, その他の産業に属する Feldmühle, Papier- und Zellstoffwerke AG では監査役会会長のポストによって, 化学産業の Kokswerke und Chemische Fabriken AG では監査役会副会長のポストによって, 炭鉱業の Harpener Bergbau-AG, Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation, 鉄鋼業の Mitteldeutsche Stahlwerke AG, 金属産業・金属加工業の Metallgesellschaft AG, 電機産業の Gesellschaft für elektrische Unternehmungen—Ludwig.Loewe & Co.AG, 繊維・紡績・織物産業の F.H.Hammersen AG, 銀行業の Allianz und Stuttgarter Lebensversicherungsbank AG, Deutsch-Asiatische Bank, Deutsche Centralbodenkredit AG, 電力業・ガス産業・エネルギー産業の Berliner Kraft und Licht (Bewag) AG, その他の産業に属する Dresdner Chromo-Kunstdruck-Papierfabrik Krause & Baumann AG の 11 社では, 監査役のポストによって兼任を行っていた。ヴォルフは, 鉄鋼業の Rasselsteiner Eisenwerks-Gesellschaft AG では監査役会会長のポストによって, 鉄鋼業の Mansfeld AG für Bergbau und Hüttenbetrieb, Neunkirchener Eisenwerk AG vorm.Gebr.Stumm の 2 社では監査役会副会長のポストによって, 炭鉱業の Essener Bergwerks-Verein König Wilhelm, Kaliwerke Aschersleben, 鉄鋼業の Eisenwerk-Gesellschaft Maximilianshütte, Homburger Eisenwerk AG, Mannesmann-Röhrenwerke AG, Rheinische Stahlwerke AG, 金属産業・金属加工業の AG für Bergbau, Blei- und Zinkfabrikation zu Stollberg und in Westfalen, 電機産業の AEG, 自動車産業の Daimler-Benz AG, その他の産業に属する Universum-Film AG の 10 社では, 監査役のポストによって兼任を行っていた。W. ファーレンホルストは鉄鋼業の Heinr. Aug. Schulte Eisen-AG, Thyssen Eisen und Stahl AG, Thyssen-Rheinstahl AG の 3 社では監査役会会長のポストによって, その他の産業の Rheinisch-Westfälische Kalkwerke, Westdeutsche Kalkwerke AG の 2 社では監査役会副会長のポストによって, 炭鉱業の Gelsenkirchener Bergwerks-AG, 鉄鋼業の Deutsche Edelstahlwerke AG, Deutsche Röhrenwerke AG, Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG, Ruhrstahl AG, 化学産業の Dynamit AG, vorms. Alfred Nobel & Co., 電機産業の AEG,

機械産業の DEMAG AG の 8 社では監査役のポストによって兼任を行っていた。

H. フォン・フロットウと C. ゴエッツは、それぞれ 12 社との間で監査役会ポストによって兼任関係を有していた。フロットウは、炭鉱業の Essener Steinkohlenbergwerke AG、その他の産業の Didier-Werke AG の 2 社では監査役会会長のポストによって、炭鉱業の Essener Bergwerks-Verein König Wilhelm では監査役会副会長のポストによって、炭鉱業の Gelsenkirchener Bergwerks-AG、Gebrüder Stumm GmbH、鉄鋼業の August-Thyssen-Hütte AG、Bochumer Verein für Gußstahlfabrikation AG、Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG、Mansfeld AG für Bergbau und Hüttenbetrieb、Ruhrstahl AG、化学産業の Kokswerke und Chemische Fabriken AG、機械産業の Hannoversche Maschinenbau AG vormals Georg Egestorff の 9 社では監査役のポストによって兼任を行っていた。ゴエッツは、炭鉱業の Kaliwerke Aschersleben、Kaliwerke Salzdetfurth、化学産業の Consolidierte Alkaliwerke zu Westeregeln、電機産業の Gesellschaft für elektrische Unternehmungen—Ludwig Loewe & Co. AG、自動車産業の Adlerwerke vorm. Heinrich Kreyer AG の 5 社では監査役会副会長のポストによって、炭鉱業の Harpener Bergbau-AG、Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation、鉄鋼業の Mitteldeutsche Stahlwerke AG、Rheinische Stahlwerke AG、Ruhrstahl AG、銀行業の Allianz und Stuttgarter Lebensversicherungsbank AG、電力業・ガス産業・エネルギー産業の Rheinisch-Westfälisches Elektrizitätswerk AG の 7 社では監査役のポストによって兼任を行っていた。

F. フリック、K. キミツヒの 2 人は、いずれも 11 社との間で兼任関係を築いていた。フリックは、炭鉱業の Harpener Bergbau-AG、鉄鋼業の Eisenwerk-Gesellschaft Maximilianshütte、Mitteldeutsche Stahlwerke AG の 3 社では監査役会会長のポストによって、機械産業の AG für Waggonbauwerte (Linke-Hofmann-Busch-Werke AG) では監査役会副会長のポストによって、炭鉱業の Essener Steinkohlenbergwerke AG、Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation、化学産業の Dynamit AG, vorms. Alfred Nobel & Co., Kokswerke und Chemische Fabriken AG、電機産業の AEG、自動車産業の Adlerwerke vorm. Heinrich Kreyer AG、銀行業の Dresdner Bank AG の 7 社では監査役のポストによって兼任を行っていた。キミツヒは、炭鉱業の Bergbau AG Ewald-König Ludwig、Kaliwerke Aschersleben、Kaliwerke Salzdetfurth、鉄鋼業の Klöckner-Werke AG、化学産業の Consolidierte Alkaliwerke zu Westeregeln の 5 社では監査役会副会長のポストによって、炭鉱業の Harpener Bergbau-AG、Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation、鉄鋼業の Deutsche Edelstahlwerke AG、電機産業の Gesellschaft für elektrische Unternehmungen—Ludwig Loewe & Co. AG、機械産業の DEMAG AG、繊維・紡績・織物産業の Vereinigte Seidenwebereien AG の 6 社では監査役のポストによって兼任を行っていた。J. ハスラッハーは 10 社との間で

兼任関係を有しており、化学産業の A.Riebeck'sche Montanwerke AG では監査役会副会長のポストによって、炭鉱業の Essener Steinkohlenbergwerke AG, Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat, 鉄鋼業の Heinr.Aug.Schulte Eisen-AG, Thyssen Eisen und Stahl AG, Thyssen-Rheinstahl AG, 化学産業の Guano-Werke AG, 銀行業の Deutsche Bank und Disconto-Gesellschaft, その他の産業に属する Rheinisch-Westfälische Kalkwerke, Westdeutsche Kalkwerke AG の 9 社では監査役のポストによって兼任を行っていた。

W. ケールと R. プフェルスメンゲスはそれぞれ 9 社との間で兼任関係を築いていた。ケールは、繊維・紡績・織物産業の F.H.Hammersen AG では監査役会会長のポストによって、電力業・ガス産業・エネルギー産業の Berliner Kraft und Licht (Bewag) AG では監査役会副会長のポストによって、炭鉱業の Essener Bergwerks-Verein König Wilhelm, Gebrüder Stumm GmbH, 鉄鋼業の Eisenwerk-Gesellschaft Maximilianshütte, Homburger Eisenwerk AG, Neunkirchener Eisenwerk AG vorm. Gebr. Stumm, Ruhrstahl AG, 繊維・紡績・織物産業の Vereinigte Seidenwebereien AG の 7 社では監査役のポストによって兼任を行っていた。プフェルスメンゲスは、鉄鋼業の Klöckner-Werke AG, 銀行業の Concordia, Lebensversicherungs-Bank AG の 2 社では監査役会副会長のポストによって、炭鉱業の Harpener Bergbau-AG, Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation, 鉄鋼業の Mitteldeutsche Stahlwerke AG, 電機産業の A E G, Kabelwerk Rheydt, AG, 機械産業の DEMAG AG, 銀行業の Deutsche Centralbodenkredit AG の 7 社では監査役のポストによって兼任を行っていた。また W. カルプは 8 社との間で兼任関係を有しており、炭鉱業の Harpener Bergbau-AG, Kaliwerke Aschersleben, Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat, 化学産業の Rheinisch-Westfälische Sprengstoff-AG, 電機産業の Kabelwerk Rheydt, AG, 自動車産業の Daimler-Benz AG, 機械産業の DEMAG AG, Maschinenbau-Unternehmungen AG において監査役のポストによって兼任を行っていた。H. フォン・シュタインは 7 社との間で兼任関係を築いており、鉄鋼業の Eisenwerk-Gesellschaft Maximilianshütte, Klöckner-Werke AG, Mitteldeutsche Stahlwerke AG, Rasselsteiner Eisenwerks-Gesellschaft AG, 金属産業・金属加工業の AG für Bergbau, Blei- und Zinkfabrikation zu Stollberg und in Westfalen, 機械産業の AG für Waggonbauwerte (Linke-Hofmann-Busch-Werke AG), 銀行業の Concordia, Lebensversicherungs-Bank AG において監査役のポストによって兼任を行っていた。

さらに、O. クラーヴェル, E. キルドルフ, C.F. フォン・ジーマース, H. シュミットの 4 人は、それぞれ 6 社との間で兼任関係を有していた。クラークヴェルは、鉄鋼業の Rheinische Stahlwerke AG では監査役会会長のポストによって、機械産業の Maschinenbau-Unternehmungen AG では監査役会副会長のポストによって、鉄鋼業の Klöckner-Werke AG, 化学産業の A.Riebeck'sche Montanwerke AG, Rheinisch-Westfälische Sprengstoff-AG, 機

械産業の DEMAG AG の 4 社では監査役のポストによって兼任を行っていた。キルドルフは、炭鉱業の Gelsenkirchener Bergwerks-AG, Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat の 2 社では監査役会名誉会長のポストによって、その他の産業に属する Wessels Wandplatten-Fabrik AG では監査役会会長のポストによって、その他の産業に属する Deutsches Gewerbehaus AG, Wasserwerk für das nördliche westfälische Kohlenrevier の 2 社では監査役会副会長のポストによって、電力業・ガス産業・エネルギー産業の Elektrizitäts-AG vorm. Schuckert & Co. では監査役のポストによって兼任を行っていた。C.F. フォン・ジーマンスは、電機産業の Siemens-Schuckertwerke AG では監査役会会長のポストによって、炭鉱業の Gelsenkirchener Bergwerks-AG, 鉄鋼業の Mannesmann-Röhrenwerke AG, 金属産業・金属加工業の Metallgesellschaft AG, 銀行業の Deutsche Bank und Disconto-Gesellschaft, 電力業・ガス産業・エネルギー産業の Elektrizitäts-AG vorm. Schuckert & Co. の 5 社において監査役のポストによって兼任を行っていた。シュミットは、化学産業の A.Riebeck'sche Montanwerke AG では監査役会会長のポストによって、鉄鋼業の Rheinische Stahlwerke AG, 化学産業の Dynamit AG, vorms. Alfred Nobel & Co. の 2 社では監査役会副会長のポストによって、金属産業・金属加工業の Metallgesellschaft AG, Norddeutsche Affinerie, 銀行業の Deutsche Bank und Disconto-Gesellschaft の 3 社では監査役のポストによって兼任を行っていた。

P. マルクスは 5 社との間で兼任関係を有しており、その他の産業に属する Feldmühle, Papier- und Zellstoffwerke AG では監査役会副会長のポストによって、鉄鋼業の Mitteldeutsche Stahlwerke AG, その他の産業に属する Didier-Werke AG, Dresdner Chromo-Kunstdruck-Papierfabrik Krause & Baumann AG, Rheinisch-Westfälische Kalkwerke の 4 社では監査役のポストによって兼任を行っていた。M.D. フォン・シンケルは 4 社との間で兼任関係を有しており、金属産業・金属加工業の Norddeutsche Affinerie, 化学産業の Dynamit AG, vorms. Alfred Nobel & Co., Guano-Werke AG の 3 社では監査役会会長のポストによって、銀行業の Deutsch-Asiatische Bank では監査役のポストによって兼任を行っていた。A. フーゲンベルク, A.P.J. ホーニヒマン, H.J. コウヴェンホーヴェン, K. ヘルレの 4 人は、いずれも 2 社との間で兼任関係を築いていた。フーゲンベルクは、その他の産業に属する Deutsches Gewerbehaus AG, Universum-Film AG において監査役会会長のポストによって兼任を行っていたのに対して、ホーニヒマンは、炭鉱業の Essener Steinkohlenbergwerke AG, その他の産業に属する Wessels Wandplatten-Fabrik AG において監査役のポストによって兼任を行っていた。コウヴェンホーヴェンは、鉄鋼業の Deutsche Edelstahlwerke AG, Press- und Walzwerk AG において監査役のポストによって兼任を行っていた。一方、ヘルレは、炭鉱業の Bergbau-AG Ewald-König Ludwig, その他の産業に属する Wasserwerk für das nördliche westfälische Kohlenrevier において監査役のポストによって兼任を行っていた。

A. フレーゼ, G. タルボット, H. ティッセンーボルネミィズザ, F.F.H. ファン・ヴリィジ
ンゲンの 4 人はそれぞれ 1 社との間で兼任関係を有していたが, いずれにおいても監査役の
ポストによる兼任となっていた。フレーゼは鉄鋼業の *Rasselsteiner Eisenwerks-Gesellschaft*
AG において, タルボットは銀行業の *Dresdner Bank AG* において, ティッセンーボルネミ
ィズザは鉄鋼業の *Press- und Walzwerk AG* において, ヴリィジンゲンは炭鉱業の *Harpener*
Bergbau-AG においてそれぞれポストを有していた¹⁰⁾。

また重複度数 3 点以上の企業, すなわち 3 件以上の兼任関係があった企業を結びつける
兼任監査役の中核の会合ネットワークについて考察することにしよう。合同製鋼の監査役会メ
ンバーによって他社の監査役会において 3 件以上の強い兼任関係が築かれていた, 「距離 1」
の位置にある企業をみると (図 3 参照), その数は 26 社であった。それらの企業は, 炭鉱業の
Bergbau-AG Ewald-König Ludwig, *Essener Bergwerks-Verein König Wilhelm*, *Essener*
Steinkohlenbergwerke AG, *Gelsenkirchener Bergwerks-AG*, *Harpener Bergbau-AG*,
Kaliwerke Aschersleben, *Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat*, *Rheinische AG für*
Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation の 8 社, 鉄鋼業の *Deutsche Edelstahlwerke AG*,
Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG, *Eisenwerk-Gesellschaft Maximilianshütte*, *Klößner-*
Werke AG, *Mitteldeutsche Stahlwerke AG*, *Rasselsteiner Eisenwerks-Gesellschaft AG*,
Rheinische Stahlwerke AG, *Ruhrstahl AG* の 8 社, 金属産業・金属加工業の *Metallgesellschaft*
AG, 化学産業の *A.Riebeck'sche Montanwerke AG*, *Dynamit AG*, *vorms. Alfred Nobel & Co.*,
Kokswerke und Chemische Fabriken AG の 3 社, 電機産業の *Allgemeine Elektrizitäts-*
Gesellschaft (AEG), *Gesellschaft für elektrische Unternehmungen—Ludwig. Loewe & Co.*
AG の 2 社, 機械産業の *DEMAG AG*, 銀行業の *Deutsche Bank und Disconto-Gesellschaft*, そ
の他の産業の *Rheinisch-Westfälische Kalkwerke*, *Wasserwerk für das nördliche westfälische*
Kohlenrevier の 2 社であった。

合同製鋼が 3 件以上の兼任関係を築いていたこれらの 26 社における兼任件数をみると,
Harpener Bergbau-AG, *Mitteldeutsche Stahlwerke AG* の 2 社ではそれぞれ 7 件, *Rheinische*
AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation では 6 件, *Essener Steinkohlenbergwerke*
AG, *Gelsenkirchener Bergwerks-AG*, *Ruhrstahl AG*, *DEMAG AG* の 4 社ではそれぞれ 5
件, *Kaliwerke Aschersleben*, *Deutsche Edelstahlwerke AG*, *Eisenwerk-Gesellschaft*
Maximilianshütte, *Klößner-Werke AG*, *Rheinische Stahlwerke AG*, *Dynamit AG*, *vorms.*
Alfred Nobel & Co., *AEG*, *Rheinisch-Westfälische Kalkwerke* の 8 社ではそれぞれ 4 件となっ
ていた。*Bergbau-AG Ewald-König Ludwig*, *Essener Bergwerks-Verein König Wilhelm*,
Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat, *Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG*,
Rasselsteiner Eisenwerks-Gesellschaft AG, *Metallgesellschaft AG*, *A.Riebeck'sche*

Montanwerke AG, Kokswerke und Chemische Fabriken AG, Gesellschaft für elektrische Unternehmungen—Ludwi.Loewe & Co.AG, Deutsche Bank und Disconto-Gesellschaft, Wasserwerk für das nördliche westfälische Kohlenrevier の11社では、それぞれ3件となっていた。

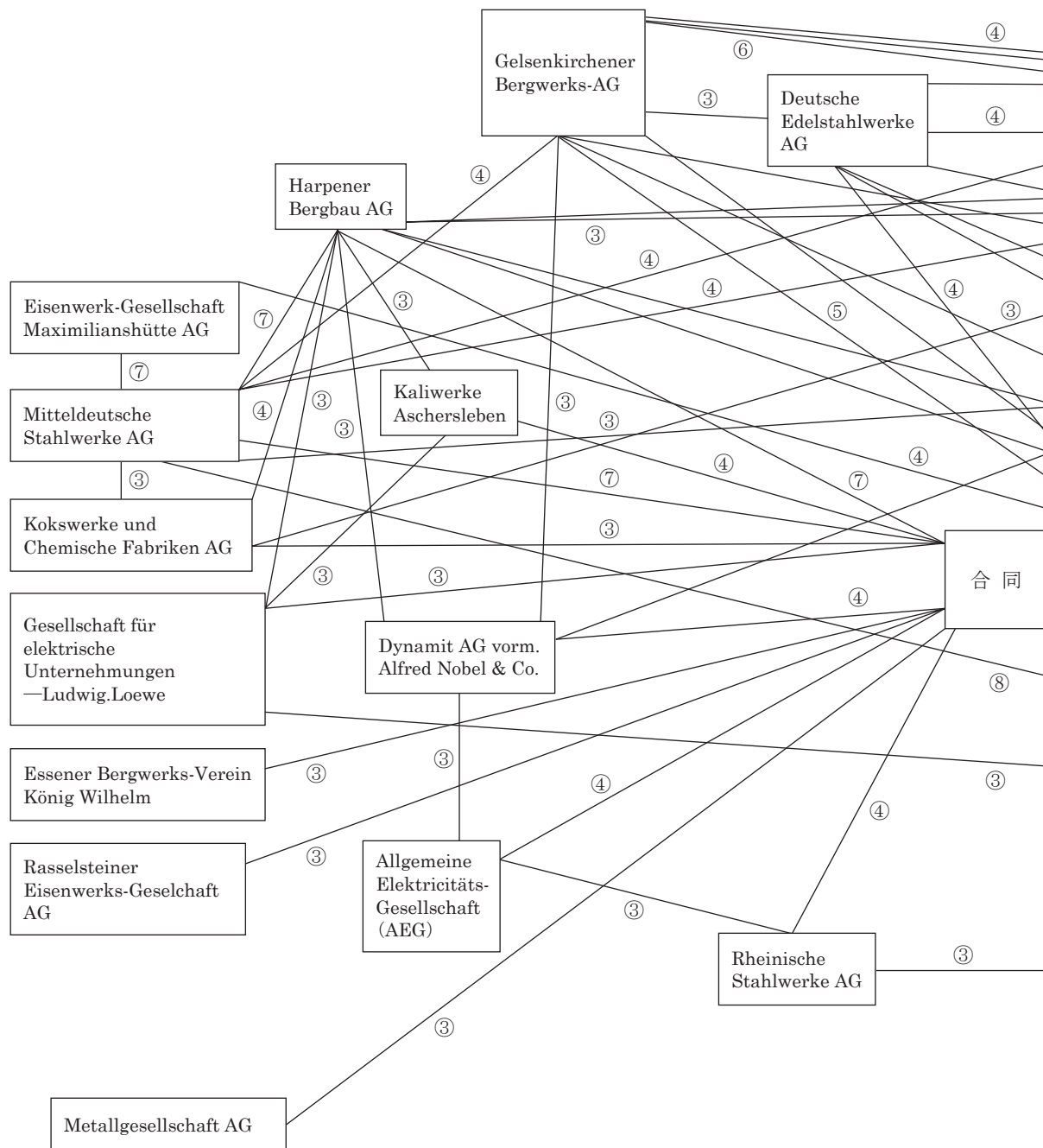
合同製鋼の監査役会ポストを有する24人の人物が、これら26社のいずれかにおいて兼任を行っていた。そのような人物は、W. カルプ, K. キミッヒ, E. キルドルフ, O. クラーヴェル, W. ケール, H.J. コウヴェンホーヴェン, C. ゴエッツ, C.F. フォン・ジーマンス, H. フォン・シュタイン, H. シュミット, M.D. フォン・シンケル, F. ティッセン, J. ハスラッハー, W. ファーレンホルスト, F. フリック, A. フレーゼ, H. フォン・フロットウ, O. ヴォルフ, K. ヘルレ, R. プフェルスメンゲス, F.F.H. ファン・ヴリィジンゲン, A.P.J. ホーニヒマン, P. マルクス, O. ヤイデルスであった。

つぎに、「距離2」の範囲でみると、合同製鋼が3件以上の兼任関係を築いていた上述の26社の監査役会メンバーによる他社の監査役会での3件以上の兼任が成立していたケースがどのようなになっていたのかという点について、「距離1」に位置していた企業間および「距離1」の位置にある企業と「距離2」に位置していた企業の間での兼任関係のありようが重要となる。以下、これらの点についてみていくことにしよう。

まず合同製鋼の監査役会メンバーによって他社の監査役会において3件以上の強い兼任関係が築かれていた、「距離1」の位置にある企業26社の間でみると（図3参照）、そのような兼任関係は23社の間でみられ、そのようなケースは合計では50存在した。8件の兼任関係が成立していたケースは1つみられ、炭鉱業の Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation と鉄鋼業の Mitteldeutsche Stahlwerke AG の間での兼任関係であった。7件の兼任関係が成立していたケースは3つ存在しており、炭鉱業の Harpener Bergbau-AG と Mitteldeutsche Stahlwerke AG の間、Harpener Bergbau-AG と Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation の間、鉄鋼業の Eisenwerk-Gesellschaft Maximilianshütte と Mitteldeutsche Stahlwerke AG の間での兼任関係がそれに該当する。6件の兼任関係がみられたケースは2つ存在しており、炭鉱業の Gelsenkirchener Bergwerks-AG と鉄鋼業の Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG の間、Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG と鉄鋼業の Ruhrstahl AG の間での兼任であった。5件の兼任関係が築かれていたケースは3つみられ、炭鉱業の Essener Steinkohlenbergwerke AG と Gelsenkirchener Bergwerks-AG との間、Gelsenkirchener Bergwerks-AG と Ruhrstahl AG の間、Harpener Bergbau-AG と機械産業の DEMAG AG の間であった。

4件の兼任関係が成立していたケースは13みられた。そのようなケースは、Essener Steinkohlenbergwerke AG と Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG との間、Essener

図 3 合同製鋼の監査役兼任の会社ネットワーク (合同製鋼と「距離 1」の企業の間および「距離 1」の企業間) (ナチス期)

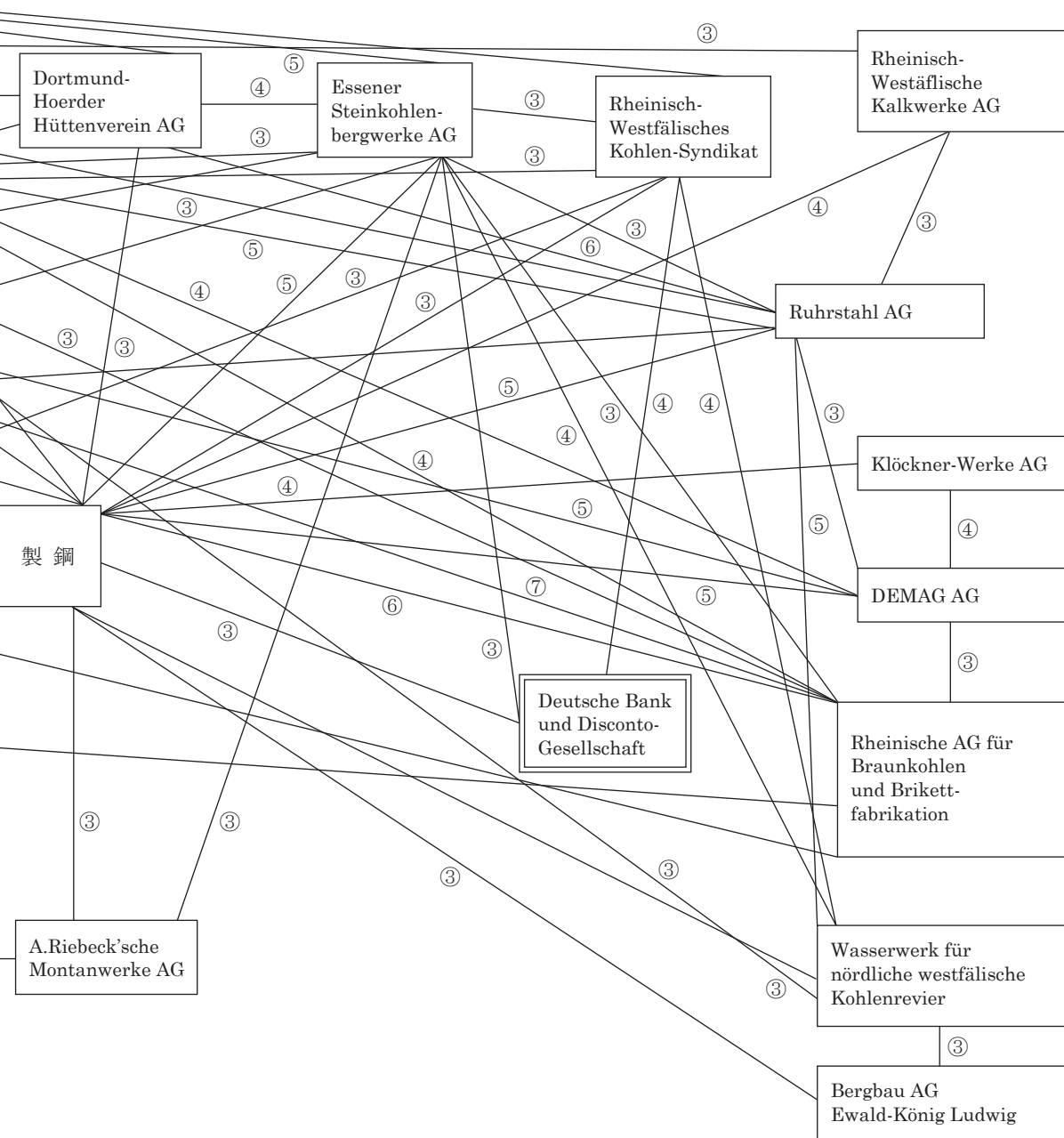


(注) : 1) 合同製鋼の監査役会メンバーによって連結される重複度点数 3 点以上の兼任関係のある会社のネットワークが図示されている。

2) で囲まれた会社は金融機関を示す。

3) 会社間を結ぶ傍線の番号は兼任件数を示す。

(出所) : J. Mossner (Hrsg.), *Adressbuch der Direktoren und Aufsichtsräte 1936*, Bd.I, Nach Personen geordnet, Finanz-Verlag, Berlin, 1936,



Steinkohlenbergwerke AG と Mitteldeutsche Stahlwerke AG の間、Essener Steinkohlenbergwerke AG とその他の産業に属する Wasserwerk für das nördliche westfälische Kohlenrevier の間、炭鉱業の Gelsenkirchener Bergwerks-AG と Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat の間、Gelsenkirchener Bergwerks-AG と Mitteldeutsche Stahlwerke AG の間、Harpener Bergbau-AG と化学産業の Kokswerke und Chemische Fabriken AG の間、Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation と鉄鋼業の Deutsche Edelstahlwerke AG の間、Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat と銀行業の Deutsche Bank und Disconto-Gesellschaft の間、Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat と Wasserwerk für das nördliche westfälische Kohlenrevier の間、Deutsche Edelstahlwerke AG と DEMAG AG の間、Deutsche Edelstahlwerke AG と Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG の間、Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG と Mitteldeutsche Stahlwerke AG の間、Klöckner-Werke AG と DEMAG AG の間で成立していた兼任関係であった。

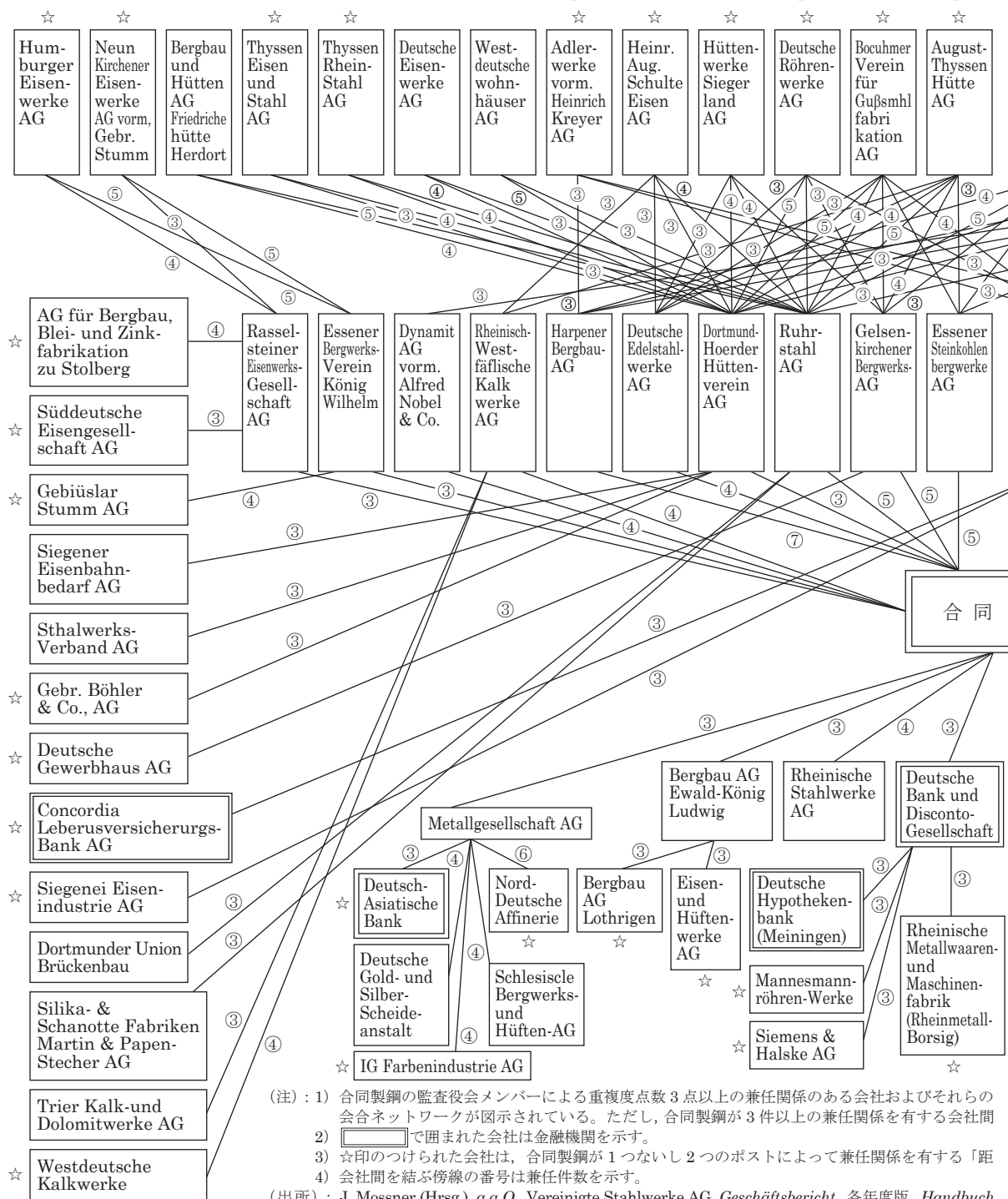
一方、3 件の兼任関係が成立していたケースは 28 みられた。そのようなケースに該当するのは、Essener Steinkohlenbergwerke AG と Harpener Bergbau-AG の間、Essener Steinkohlenbergwerke AG と Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat の間、Essener Steinkohlenbergwerke AG と Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation の間、Essener Steinkohlenbergwerke AG と Ruhrstahl AG の間、Essener Steinkohlenbergwerke AG と化学産業の A.Riebeck'sche Montanwerke AG の間、Essener Steinkohlenbergwerke AG と Kokswerke und Chemische Fabriken AG の間、Essener Steinkohlenbergwerke AG と Deutsche Bank und Disconto-Gesellschaft の間、Gelsenkirchener Bergwerks-AG と Deutsche Edelstahlwerke AG の間、Gelsenkirchener Bergwerks-AG と Dynamit AG, vorms. Alfred Nobel & Co. の間、Gelsenkirchener Bergwerks-AG と Wasserwerk für das nördliche westfälische Kohlenrevier の間、Harpener Bergbau-AG と炭鉱業の Kaliwerke Aschersleben の間、Harpener Bergbau-AG と Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat の間、Harpener Bergbau-AG と Dynamit AG, vorms. Alfred Nobel & Co. の間、Harpener Bergbau-AG と電機産業の Gesellschaft für elektrische Unternehmungen—Ludwig. Loewe & Co. AG の間、Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation と DEMAG AG の間、Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation と Gesellschaft für elektrische Unternehmungen—Ludwig. Loewe & Co. AG の間、炭鉱業の Bergbau-AG Ewald-König Ludwig と Wasserwerk für das nördliche westfälische Kohlenrevier の間、Kaliwerke Aschersleben と Gesellschaft für elektrische Unternehmungen—Ludwig. Loewe & Co. AG の間、Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat と Dynamit AG, vorms. Alfred Nobel & Co. の間、Deutsche Edelstahlwerke AG と Ruhrstahl AG の間、Deutsche Edelstahlwerke AG とその他の産業の Rheinisch-Westfälische Kalkwerke

の間、Mitteldeutsche Stahlwerke AG と Kokswerke und Chemische Fabriken AG の間、Mitteldeutsche Stahlwerke AG と Ruhrstahl AG の間、Rheinische Stahlwerke AG と A. Riebeck'sche Montanwerke AG の間、Rheinische Stahlwerke AG と AEG の間、Ruhrstahl AG と DEMAG AG の間、Ruhrstahl AG と Rheinisch-Westfälische Kalkwerke の間、Dynamit AG, vorms. Alfred Nobel & Co. と AEG の間の兼任関係であった。

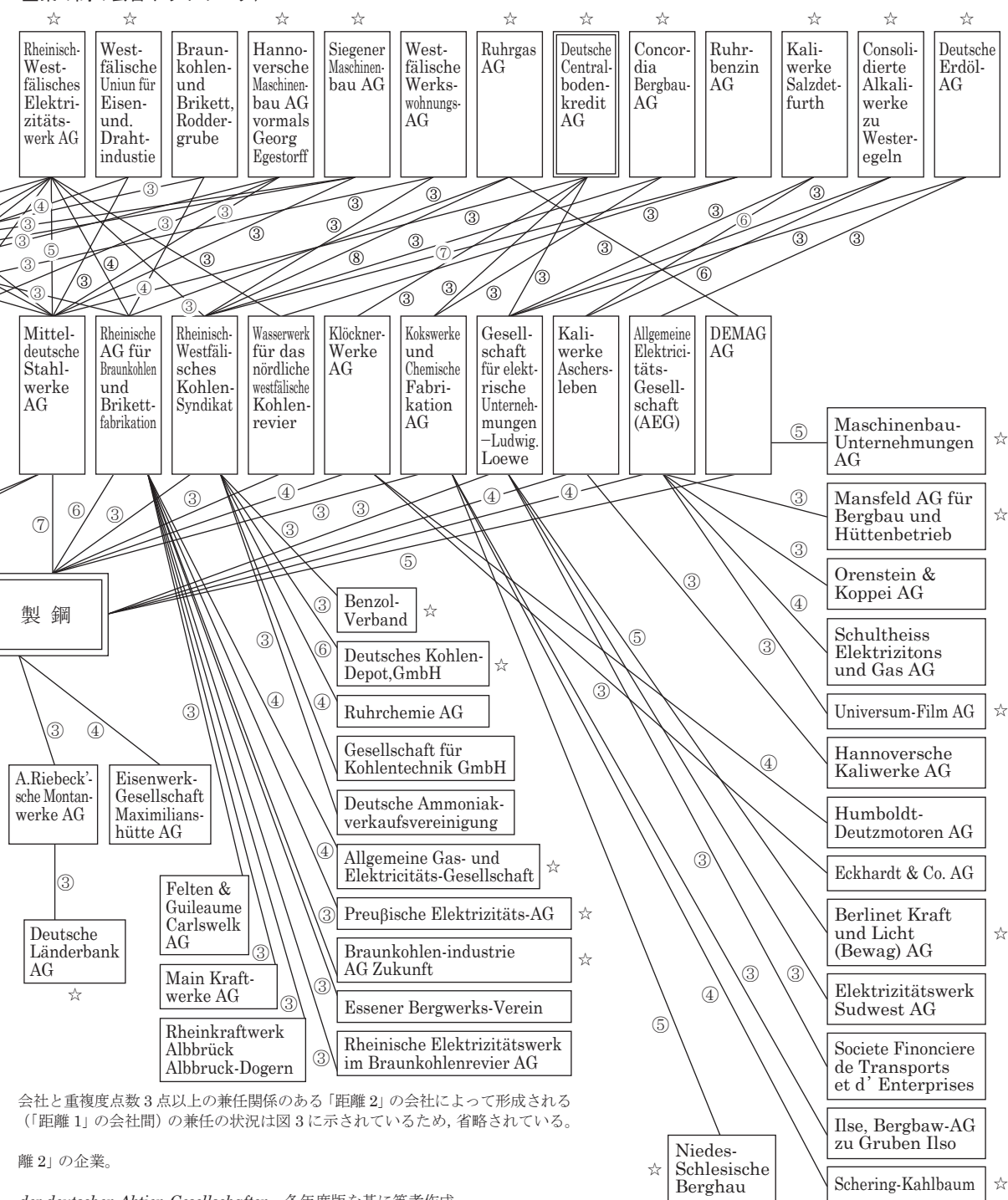
また合同製鋼のネットワークにおいて「距離1」の位置にある企業26社と「距離2」の位置にある企業との間で3件以上の強い兼任関係が成立していたケースをみると（図4参照）、そのようなケースに該当する企業は合計で78みられた。これら78社のなかでは、「距離1」に位置する2社以上の企業が同じ会社において3件以上の兼任関係を有していたケースは26社みられた。これら26のケースのうち、そのような兼任関係が8社によって築かれていたケースは1社、6社によるケースは2社、5社によるケースは1社、4社によるケースは3社、3社によるケースは4社、2社によるケースは15社においてみられた。

8社によって兼任関係が築かれていたケースは電力業・ガス産業・エネルギー産業の Rheinisch-Westfälisches Elektrizitätswerk AG であり、同社との間では、鉄鋼業の Mitteldeutsche Stahlwerke AG は5件の、炭鉱業の Harpener Bergbau-AG, Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation はそれぞれ4件の、炭鉱業の Essener Steinkohlenbergwerke AG, Gelsenkirchener Bergwerks-AG, Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat, 鉄鋼業の Ruhrstahl AG, その他の産業に属する Wasserwerk für das nördliche westfälische Kohlenrevier の5社は、それぞれ3件の兼任関係を有していた。6社によって兼任関係が築かれていたケースは、鉄鋼業の August-Thyssen-Hütte AG, Bocuhmer Verein für Gußstahlfabrikation AG の2社であり、August-Thyssen-Hütte AG との間では、Ruhrstahl AG は5件の、Gelsenkirchener Bergwerks-AG, 鉄鋼業の Deutsche Edelstahlwerke AG, Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG はそれぞれ4件の、Essener Steinkohlenbergwerke AG, その他の産業に属する Rheinisch-Westfälische Kalkwerke は、それぞれ3件の兼任関係を築いていた。Bocuhmer Verein für Gußstahlfabrikation AG との間では、Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG は5件、Mitteldeutsche Stahlwerke AG, Ruhrstahl AG はそれぞれ4件、Essener Steinkohlenbergwerke AG, Gelsenkirchener Bergwerks-AG, Deutsche Edelstahlwerke AG の3社は、それぞれ3件の兼任関係を成立させていた。5社によって兼任関係が築かれていたケースは鉄鋼業の Deutsche Röhrenwerke AG であり、同社との間では、Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG は5件の、Gelsenkirchener Bergwerks-AG, Deutsche Edelstahlwerke AG, Mitteldeutsche Stahlwerke AG, Ruhrstahl AG の4社は、それぞれ3件の兼任を行っていた。4社によって兼任関係が築かれていたケースは、鉄鋼業の Hüttenwerk Siegerland AG, Heinr.Aug.Schulte Eisen-AG, 銀行業の Deutsche Centralbodenkredit AG

図 4 合同製鋼の監査役兼任の会社ネットワーク（合同製鋼と「距離 1」の企業の間および「距離 1」の企業と「距離 2」の



企業の間の会合ネットワーク）



の 3 社であった。Hüttenwerk Siegerland AG との間では, Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG, Ruhrstahl AG はそれぞれ 4 件の, Gelsenkirchener Bergwerks-AG, Deutsche Edelstahlwerke AG は, それぞれ 3 件の兼任関係を有していた。Heinr.Aug.Schulte Eisen-AG との間では, Ruhrstahl AG は 4 件の, Deutsche Edelstahlwerke AG, Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG, Rheinisch-Westfälische Kalkwerke の 3 社は, それぞれ 3 件の兼任関係を築いていた。Deutsche Centralbodenkredit AG との間では, 鉄鋼業の Klöckner-Werke AG, Mitteldeutsche Stahlwerke AG, 化学産業の Kokswerke und Chemische Fabriken AG, 電機産業の Gesellschaft für elektrische Unternehmungen—Ludwig. Loewe & Co. AG の 4 社は, それぞれ 3 件の兼任を行っていた。

3 社によって兼任関係が築かれていたケースは, 電力業・ガス産業・エネルギー産業の Ruhrgas AG, 機械産業の Hannoversche Maschinenbau AG vormals Georg Egestorff, 機械産業の Siegener Maschinenbau-AG, 自動車産業の Adlerwerke vorm. Heinrich Kleyer AG の 4 社であった。Ruhrgas AG との間では, Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat は 8 件の, Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation, 機械産業の DEMAG AG は, それぞれ 3 件の兼任関係を成立させていた。Hannoversche Maschinenbau AG vormals Georg Egestorff との間では, Essener Steinkohlenbergwerke AG, Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG, Mitteldeutsche Stahlwerke AG の 3 社は, それぞれ 3 件の兼任を成立させていた。Siegener Maschinenbau-AG との間では, Harpener Bergbau-AG, Mitteldeutsche Stahlwerke AG, 化学産業の Dynamit AG, vorms. Alfred Nobel & Co. の 3 社は, それぞれ 3 件の兼任関係を有していた。Adlerwerke vorm. Heinrich Kleyer AG との間では, Harpener Bergbau-AG, Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation, Mitteldeutsche Stahlwerke AG の 3 社が, それぞれ 3 件の兼任を行っていた。

合同製鋼の監査役会メンバーが直接兼任関係を有していた「距離 1」の位置にある企業 2 社が 3 件以上の兼任関係を築いていたケースは, 15 社においてみられた。炭鉱業の Kaliwerke Salzdetfurth AG との間では, 炭鉱業の Kaliwerke Aschersleben は 6 件の, Gesellschaft für elektrische Unternehmungen—Ludwig. Loewe & Co. AG は 3 件の兼任を行っていた。炭鉱業の Braunkohlen- und Brikettwerke, Roddergrube AG との間では, Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation は 4 件の, Harpener Bergbau-AG は 3 件の兼任を行っていた。炭鉱業の Concordia Bergbau-AG との間では, Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat, Kokswerke und Chemische Fabriken AG の 2 社が, それぞれ 3 件の兼任関係を有していた。鉄鋼業の Humburger Eisenwerk AG との間では, 炭鉱業の Essener Bergwerks-Verein König Wilhelm は 5 件の, 鉄鋼業の Rasselsteiner Eisenwerks-Gesellschaft AG は 4 件の兼任関係を有していた。鉄鋼業の Bergbau- und Hütten-AG Friedrichshütte との間では,

Ruhrstahl AG は 5 件の、Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG は 4 件の兼任関係を成立させていた。鉄鋼業の Neunkirchener Eisenwerk AG vorm.Gebr. Stumm との間では、Essener Bergwerks-Verein König Wilhelm は 5 件の、Rasselsteiner Eisenwerks-Gesellschaft AG は 3 件の兼任関係を有していた。鉄鋼業の Thyssen Eisen und Stahl AG, Thyssen-Rheinstahl AG の 2 社との間では、いずれにおいても、Ruhrstahl AG はそれぞれ 4 件の、Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG は 3 件の兼任関係を成立させていた。鉄鋼業の Deutsche Eisenwerke AG との間では、Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG は 4 件の、Ruhrstahl AG は 3 件の兼任関係を成立させていた。鉄鋼業の Westfälische Union AG für Eisen- und Drahtindustrie との間では、Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG は 4 件の、Mitteldeutsche Stahlwerke AG は 3 件の兼任関係を築いていた。化学産業の Consolidierte Alkaliwerke zu Westeregeln との間では、Kaliwerke Aschersleben は 6 件の、Gesellschaft für elektrische Unternehmungen—Ludwig. Loewe & Co. AG は 3 件の兼任関係を成立させていた。石油産業の Ruhrbenzin AG との間では、Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat は 7 件の、Wasserwerk für das nördliche westfälische Kohlenrevier は 3 件の兼任関係を有していた。石油産業の Deutsche Erdöl AG との間では、電機産業の AEG, Gesellschaft für elektrische Unternehmungen—Ludwig. Loewe & Co. AG の 2 社は、それぞれ 3 件の兼任を行っていた。その他の産業に属する Westdeutsche Wohnhäuser AG との間では、Dortmund-Hoerder Hüttenverein AG は 5 件の、Ruhrstahl AG は 3 件の兼任関係を築いていた。その他の産業に属する Westfälische Werkwohnungs-AG との間では、Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat, Ruhrstahl AG の 2 社が、それぞれ 3 件の兼任関係を有していた。

合同製鋼が兼任関係を有する「距離 1」の位置にある企業 1 社が「距離 2」の位置にある企業と 3 件以上の兼任関係を築いていたケースは、52 社においてみられた。これら 52 社のうち、6 件の兼任関係が成立していたケースは 2 社、5 件の兼任関係が成立していたケースは 3 社、4 件の兼任関係が成立していたケースは 13 社、3 件の兼任関係が成立していたケースは 34 社みられた。

6 件の兼任関係が成立していたケースは、Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat と化学産業の Ruhrchemie AG との間、Metallgesellschaft AG と金属産業・金属加工業の Norddeutsche Affinerie との間でみられた。5 件の兼任関係が成立していたケースは、Kokswerke und Chemische Fabriken AG と炭鉱業の Niederschlesische Bergbau-AG との間、Gesellschaft für elektrische Unternehmungen—Ludwig. Loewe & Co. AG と電力業・ガス産業・エネルギー産業の Berliner Kraft und Licht (Bewag) AG との間、DEMAG AG と機械産業の Maschinenbau-Unternehmungen AG との間でみられた。

4 件の兼任関係が成立していたケースは、Essener Bergwerks-Verein König Wilhelm と炭

鋳 業 の Gebrüder Stumm GmbH と の 間 , Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation と 電力 業 ・ ガス 産 業 ・ エ ネ ル ギ ー 産 業 の Preußische Elektrizitäts-AG, Allgemeine Gas- und Elektrizitäts-Gesellschaft と の 間 , Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat と その 他 の 産 業 に 属 す る Gesellschaft für Kohlentechnik GmbH と の 間 , Klöckner-Werke AG と 機 械 産 業 の Humboldt-Deutzmotoren AG と の 間 , Rasselsteiner Eisenwerksgesellschaft AG と 金 属 産 業 ・ 金 属 加 工 業 の AG für Bergbau, Blei- und Zinkfabrikation zu Stollberg und in Westfalen と の 間 , Metallgesellschaft AG と 鉄 鋼 業 の Schlesische Bergwerks- und Hütten-AG, 化 学 産 業 の IG Farbenindustrie AG, Deutsche Gold- und Silber-Scheideanstalt と の 間 , Kokswerke und Chemische Fabriken AG と 化 学 産 業 の Schering-Kahlbaum AG と の 間 , AEG と 電力 業 ・ ガス 産 業 ・ エ ネ ル ギ ー 産 業 の Schlesische Elektrizitäts- und Gas-AG と の 間 , Gesellschaft für elektrische Unternehmungen—Ludwig. Loewe & Co. AG と 銀 行 業 の Societe Financiere de Transports et d'Enterprises Industrielles と の 間 , Rheinisch-Westfälische Kalkwerke と その 他 の 産 業 に 属 す る Westdeutsche Kalkwerke AG と の 間 で み ら れ た 。

3 件 の 兼 任 関 係 が 成 立 し て い た ケ ー ス は , Bergbau AG Ewald-König Ludwig と 炭 鋳 業 の Bergbau-AG Lothringen, 鉄 鋼 業 の Eisen- und Hüttenwerke AG と の 間 , Gelsenkirchener Bergwerks-AG と その 他 の 産 業 に 属 す る Deutsches Gewerbehaus AG と の 間 , Rheinische AG für Braunkohlenbergbau und Brikettfabrikation と 炭 鋳 業 Braunkohlen-Industrie AG Zukunft, 炭 鋳 業 の Eschweiler Bergwerks-Verein, 電 機 産 業 の Felten & Guillaume Carlswerk AG, 電 力 業 ・ ガ ス 産 業 ・ エ ネ ル ギ ー 産 業 の Main-Kraftwerke AG, Rheinisches Elektrizitätswerk im Braunkohlenrevier AG, Rheinkraftwerk Albbruck-Dogern AG と の 間 , Rheinisch-Westfälisches Kohlen-Syndikat と 炭 鋳 業 の Deutsches Kohlen-Depot, GmbH, 化 学 産 業 の Benzol-Verband GmbH, 流 通 業 の Deutsche Ammoniakverkaufsvereinigung (GmbH) と の 間 , Kaliwerke Aschersleben と 炭 鋳 業 の Hannoversche Kaliwerke AG と の 間 , Dortmund-Hörder Hüttenverein AG と 鉄 鋼 業 の Gebrüder Böhler & Co., AG, Stahlwerks-Verband AG, 機 械 産 業 の Siegener Eisenbahnbedarf AG と の 間 , Klöckner-Werke AG と 流 通 業 の Eckhardt & Co. AG と の 間 , Mitteldeutsche Stahlwerke AG と 鉄 鋼 業 の Siegener Eisenindustrie AG, 銀 行 業 の Concordia, Lebensversicherungs-Bank AG と の 間 , Rasselsteiner Eisenwerksgesellschaft AG と 鉄 鋼 業 の Süddeutsche Eisengesellschaft AG と の 間 , Ruhrstahl AG と その 他 の 産 業 に 属 す る Dortmunder Union Brückenbau, Silika- & Schamotte Fabriken Martin & Pagenstecher AG と の 間 , Metallgesellschaft AG と 銀 行 業 の Deutsch-Asiatische Bank と の 間 , A. Riebeck'sche Montanwerke AG と 銀 行 業 の Deutsche Länderbank AG と の 間 , Kokswerke und Chemische Fabriken AG と 炭 鋳 業 の Ilse, Bergbau-AG zu Grube Ilse と の 間 で み ら れ た 。 ま た , AEG と 鉄 鋼 業 の Mansfeld AG für Bergbau und Hüttenbetrieb, 機 械 産 業

の Orenstein & Koppel AG, その他の産業に属する Universum-Film AG との間, Gesellschaft für elektrische Unternehmungen—Ludwi.Loewe & Co.AG と電力業・ガス産業・エネルギー産業の Elektrizitätswerk Südwest AG との間, Deutsche Bank und Disconto-Gesellschaft と鉄鋼業の Mannesmannröhren-Werke, 電機産業の Siemens & Halske AG, 機械産業の Rheinische Metalwaaren-und Maschinenfabrik (Rheinmetall-Borsig), 銀行業の Deutsche Hypothekenbank,Meiningen との間, Rheinisch-Westfälische Kalkwerke AG とその他の産業に属する Trierer Kalk- und Dolomitwerke AG との間でも, それぞれ 3 件の兼任関係が成立していた。

「距離 2」の範囲で 3 件以上の兼任関係が成立していた重複度点数 3 点以上のこれらの 78 社の企業のうち, 合同製鋼が 1 つないし 2 つの監査役会ポストによって直接兼任関係を有していた企業は, 48 社存在した。それゆえ, 重複度点数 3 点以上の企業で構成される会合ネットワークに属する, 合同製鋼が直接兼任の関係をもたない「距離 2」に位置する企業の数は, 30 社存在していたことになる。

それらの企業をみると, 炭鉱業では Braunkohlen- und Brikettwerke,Roddergrube AG, Hannoversche Kaliwerke AG, Ilse,Bergbau-AG zu Grube Ilse, Eschweiler Bergwerks-Verein の 4 社であった。鉄鋼業では Bergbau- und Hütten-AG Friedrichshütte, Deutsche Eisenwerke AG, Stahlwerks-Verband AG, Schlesische Bergwerks- und Hütten-AG の 4 社であった。化学産業では Deutsche Gold- und Silber-Scheideanstalt, Ruhrchemie AG の 2 社, 電機産業では Felten & Guillaume Carlswerk AG の 1 社であった。機械産業では Orenstein & Koppel AG, Siegenger Eisenbahnbedarf AG, Humboldt-Deutzmotoren AG の 3 社であった。石油産業では Ruhrbenzin AG の 1 社, 流通業では Eckhardt & Co.AG, Deutsche Ammoniakverkaufsvereinigung (GmbH) の 2 社であった。銀行業では Deutsche Hypothekenbank,Meiningen, Societe Financiere de Transports et d'Enterprises Industrielles の 2 社であった。電力業・ガス産業・エネルギー産業では Schlesische Elektrizitäts- und Gas-AG, Elektrizitätswerk Südwest AG, Main-Kraftwerke AG, Rheinisches Elektrizitätswerk im Braunkohlenrevier AG, Rheinkraftwerk Albbruck-Dogern AG の 5 社であった。その他の産業では Westdeutsche Wohnhäuser AG, Westfälische Werkwohnungs-AG, Trierer Kalk- und Dolomitwerke AG, Gesellschaft für Kohlentechnik GmbH, Dortmunder Union Brückenbau, Silika- & Schamotte Fabriken Martin & Pagenstecher AG の 6 社であった。

これらの 30 社を除く 48 社は, 合同製鋼が 1 つないし 2 つのポストによる兼任関係を有する企業であった。これらの企業は, 「距離 2」の企業と「距離 3」の企業の間での 3 件以上のポストによる監査役兼任の関係をとおして, 重複度点数 3 点以上の強い兼任関係の築かれて

いた企業で構成される合同製鋼の会合ネットワークの構成企業をなした。

重複度点数 3 点以上の強い兼任関係によって連結された合同製鋼の監査役兼任による会合ネットワークをドイツ銀行のそれとの比較でみると、合同製鋼のネットワークでは、直接兼任関係のある企業数ではドイツ銀行のその場合とほとんど差はみられなかったが、3 件以上の兼任関係によって結ばれた会合ネットワークははるかに大規模なものとなっていたという点が特徴的である¹¹⁾。

(未 完)

<注>

- 1) 仲田正機・細井浩一・岩波文孝『企業間の人的ネットワーク——取締役兼任制の日米比較——』同文館, 1997 年, 40 ページ。
- 2) 同書, 40 ページ参照。ドイツの場合, トップ・マネジメントの二層制構造となっていることから, 取締役会および監査役会を舞台とした役員兼任の問題が対象となりうるが, 本書において考察する監査役を舞台とする兼任制をめぐって, 大企業のトップ・マネジメントをめぐる役員兼任制の構造分析の重要性についての問題認識において, 仲田正機氏, 細井浩一氏, 岩波文孝氏の共著である同書から有益な示唆を得た。同書, はしがき, 1 ページ参照。
- 3) 拙稿「第 2 次大戦前期のドイツ大銀行の監査役兼任ネットワークの構造——ナチス期のドイツ銀行, ドレスナー銀行およびコメルツ銀行の分析——」(I), (II), 『立命館経営学』(立命館大学), 第 61 巻第 2 号, 2022 年 7 月, 第 61 巻第 3 号, 2022 年 9 月を参照。
- 4) Vgl.H. Pfeiffer, *Die Macht der Banken. Die personellen Verflechtungen der Commerzbank, der Deutschen Bank und der Dresdner Bank mit Unternehmen*, Campus, Frankfurt am Main, 1993, S.158-159, H. Pfeiffer, *Großbanken und Finanzgruppen. Ausgewählte Ergebnisse einer Untersuchung der personellen Verflechtungen von Deutscher, Dresdner und Commerzbank*, WSI Mitteilungen, 39.Jg, Nr.7, Juli 1986, S.477, H. Pfeiffer, *Das Netzwerk der Großbanken. Personelle Verflechtungen mit Konzernen, Staat und ideologischen Apparaten*, Blätter für deutsche und internationale Politik, 31.Jg, Heft 2, 1986, S.164, K.-H. Stanzick, *Der ökonomische Konzentrationsprozeß*, G. Schäfer, C.Nedelmann (Hrsg.), *Der CDU-Staat. Analysen zur Verfassungswirklichkeit der Bundesrepublik*, Bd.I, 2.Auflage, Suhrkamp, Frankfurt am Main, 1969, S.72, H.O. Eglau, *Wie Gott in Frankfurt: Die Deutsche Bank und die deutsche Industrie*, 3.Auflage, Econ Verlag, Düsseldorf, 1990 S.128 [長尾秀樹訳『ドイツ銀行の素顔』東洋経済新報社, 1990 年, 96 ページ]。
- 5) 拙書『ドイツの企業間関係——企業間人的結合の構造と機能——』森山書店, 東京, 2019 年を参照。
- 6) 例えば, P. Windorf, *The Corporate Networks in Germany, 1896-2010*, T. David, G. Weserhuis (eds.), *The Power of Corporate Networks. A Comparative and Historical Perspective*, Routledge, New York, 2014, P. Windorf, *Corporate Networks in Europe and the United States*, Oxford University Press, New York, 2002, K. Krenn, *Alle Macht den Banken? Zur Struktur personaler Netzwerke deutscher Unternehmen am Beginn des 20. Jahrhunderts*, Springer, Wiesbaden, 2012, R. Ziegler, D. Bender, H. Biehler, *Industry and Banks in the German Corporate Network*, F.N. Stockman, R. Ziegler, J. Scott (eds.), *Networks of Corporate Power. A Comparative Analysis of Ten Countries*, Polity Press, Cambridge, 1985 [上田義朗訳『企業権力のネットワーク 10 カ国における役員兼任の比較分析』文眞堂, 東京, 1993 年], M. Nobbert, *Unternehmensverflechtungen in Westeuropa. Nationale und transnationale Netzwerke von Unternehmen, Aufsichtsräten und Managern*, LIT Verlag, Münster, 2005, A. Windeler,

Unternehmens-Netzwerke. Konstitution und Strukturierung, 1.Auflage, Westdeutscher Verlag, Wiesbaden, 2001などを参照。

- 7) 本稿では、役員兼任による企業間の人的ネットワークの分析にさいして、人名録にあたる内容が記載されているJ. Mossner (Hrsg.), *Adressbuch der Direktoren und Aufsichtsräte 1936*, Bd.I, Nach Personen geordnet, Finanz-Verlag, Berlin, 1936に依拠して分析を行うが、兼任、職位に関する記述の引用ページの記載に関しては、個別のケースごとに示すことは非常に煩雑となるため、省略する。なお本稿において考察する産業企業3社のネットワークを構成する各企業の役員、彼らの職位については、同書の記載は各社の営業報告書等の記載と一致しないこともあるが、分析の一貫性の確保のために、J. Mossner編の資料の記載に基づいて考察を行っている。
- 8) 企業間の人的結合に関する社会的ネットワーク分析の方法についてのここでの記述については、仲田・細井・岩波、前掲書、38-41ページ参照。
- 9) J. Mossner (Hrsg.), *a. a. O.*, Vereinigte Stahlwerke AG, *Geschäftsbericht, Handbuch der deutschen Aktien-Gesellschaften* を基に筆者算定。
- 10) Vgl. J. Mossner (Hrsg.), *a. a. O.*, S.224-225, S.356, S.387, S.389, S.403-404, S.469, S.523-524, S.554-555, S.663, S.648, S.683-684, S.724, S.742, S.747, S.813, S.825, S.969, S.1159-1160, S.1352, S.1389-1390, S.1481-1482, S.1526, S.1569, S.1593-1594, S.1748.
- 11) 前掲拙稿（I）を参照。

<参考文献>

1 欧文献（著者名のあるもの）

- Eglau, H.O., *Wie Gott in Frankfurt: Die Deutsche Bank und die deutsche Industrie*, 3.Auflage, Econ Verlag, Düsseldorf, 1990 [長尾秀樹訳『ドイツ銀行の素顔』東洋経済新報社、東京、1990年]。
- Krenn, K., *Alle Macht den Banken? Zur Struktur personaler Netzwerke deutscher Unternehmen am Beginn des 20.Jahrhunderts*, Springer, Wiesbaden, 2012.
- Mossner, J. (Hrsg.), *Adressbuch der Direktoren und Aufsichtsräte 1936*, Bd.I, Nach Personen geordnet, Finanz-Verlag, Berlin, 1936.
- Nobbert, M., *Unternehmensverflechtungen in Westeuropa. Nationale und transnationale Netzwerke von Unternehmen, Aufsichtsräten und Managern*, LIT Verlag, Münster, 2005.
- Pfeiffer, H., Das Netzwerk der Großbanken. Personelle Verflechtungen mit Konzernen, Staat und ideologischen Apparaten. In: *Blätter für deutsche und international Politik*, 31.Jg, Heft 2, 1986, S.161-177.
- Pfeiffer, H., Großbanken und Finanzgruppen. Ausgewählte Ergebnisse einer Untersuchung der personellen Verflechtungen von Deutscher, Dresdner und Commerzbank. In: *WSI Mitteilungen*, 39.Jg, Nr.7, Juli 1986, S.473-481.
- Pfeiffer, H., *Die Macht der Banken. Die personellen Verflechtungen der Commerzbank, der Deutschen Bank und der Dresdner Bank mit Unternehmen*, Campus, Frankfurt am Main, 1993.
- Stanzick, K.-H., Der ökonomische Konzentrationsprozeß. In: Schäfer, G., Nedelmann, C., (Hrsg.), *Der CDU-Staat. Analysen zur Verfassungswirklichkeit der Bundesrepublik*, Bd.2, 2.Auflage, Schurkamp, München, 1969, S.48-79.
- Vereinigte Stahlwerke AG, *Geschäftsbericht*.
- Windeler, A., *Unternehmens-Netzwerke. Konstitution und Strukturierung*, 1.Auflage, Westdeutscher Verlag, Wiesbaden, 2001.
- Windorf, P., *Corporate Networks in Europe and the United States*, Oxford University Press, New York, 2002.

Windorf, P., The Corporate Networks in Germany, 1896-2010. In: David, T., Weserhuis, G. (eds.), *The Power of Corporate Networks. A Comparative and Historical Perspective*, Routledge, New York, 2014, pp.66-85.

Ziegler, R., Bender, D., Biehler, H., Industry and Banking in the German Corporate Network. In: Stokman, F.N., Ziegler, R., Scott, J. (eds.), *Networks of Corporate Power. A Comparative Analysis of Ten Countries*, Polity Press, Cambridge, 1985, pp.91-111 [上田義朗訳『企業権力のネットワーク 10 カ国における役員兼任の比較分析』文眞堂, 1993 年, 98-120 ページ].

2 欧文文献（著者名のないもの）

Handbuch der deutschen Aktien-Gesellschaften.

3 日本語文献

仲田正機・細井浩一・岩波文孝『企業間の人的ネットワーク 取締役兼任制の日米比較』同文館出版, 東京, 1997 年。

山崎敏夫『ドイツの企業間関係——企業間人的結合の構造と機能——』森山書店, 東京, 2019 年。

山崎敏夫「第 2 次大戦前におけるドイツ大銀行の監査役兼任ネットワークの構造（Ⅰ）——ナチス期のドイツ銀行, ドレスナー銀行およびコメルツ銀行の分析——」『立命館経営学』（立命館大学）, 第 61 巻第 2 号, 2022 年 7 月, 1-26 ページ。

山崎敏夫「第 2 次大戦前におけるドイツ大銀行の監査役兼任ネットワークの構造（Ⅱ）——ナチス期のドイツ銀行, ドレスナー銀行およびコメルツ銀行の分析——」『立命館経営学』（立命館大学）, 第 61 巻第 3 号, 2022 年 9 月, 1-18 ページ。

Social Network Analysis of Interlocking Directorates by Supervisory Boards Members of Large Enterprises in Iron and Steel Industry, Chemical Industry, and Electrical Industry in Germany before World War II: Cases of Vereinigte Stahlwerke AG, IG Farbenindustrie AG, and Siemens & Halske AG during the period of National Socialism

Toshio Yamazaki *

Abstract

Big business systems based on inter-firm relationships were the cornerstone of German capitalism's accumulation structure, and they were important to Germany's corporate development. A core element of such inter-firm relationships can be observed in personnel connection through interlocking directorates between industrial enterprises and banks as well as among industrial enterprises. Members of supervisory boards of large banks tended to hold many posts on the supervisory boards of other enterprises. Those of industrial enterprises also had built interlocking directorates through holding mandates of such top management organ of other enterprises. The characteristics of industrial concentration in Germany included the industrial system that shared information and coordinated interests between industry and banks and between corporations.

However, in many cases, members of the supervisory boards of several other enterprises in which supervisory board members of a company have interlocking mandates also hold many posts of third-party enterprises. In such cases, the personnel network through interlocking directorates including second-party and third-party enterprises is established; such a system is important for exchanging information and coordinating interests between industry and banks and among corporations.

Using the methodology of social network analysis, this paper investigates personnel networks of large enterprises in major manufacturing industries in Germany that were established through interlocking directorates between a company and second-party enterprises and between these second-party enterprises and third-party enterprises. Regarding situations in the period during the period of National Socialism, characteristics and significance of

personnel networks of representative large enterprises in key industrial sectors such as iron and steel industry, chemical industry, and electrical industry are clarified through examining cases of networks of Vereinigte Stahlwerke AG, IG Farbenindustrie AG, and Siemens & Halske AG.

Keywords:

Chemical industry • Electrical industry • Germany • Interlocking directorate • Iron and steel industry • Personnel network • Supervisory board

* Professor, College of Business Administration, Ritsumeikan University